

## 夏を迎える前の点検・整備の話

機械が過酷な条件で使用される夏がやってきます。機械のお手入れの方はいかがでしょうか？  
今回は夏を迎える前にメンテナンスをしておきたい事を少し考えてみたいと思います。

### 1. ブレーキオイル

夏は外気温が高いためブレーキオイルの一部が気化し、ブレーキが効かなくなる。ペーパーロックが起きやすくなります。劣化したブレーキオイルを使用していると、更にペーパーロックが起こりやすく大変危険なことはいうまでもありません。ペーパーロックを防止するには、ブレーキオイルを定期的に交換する事が一番です。ブレーキオイルは一年に一度の交換を推奨されています。  
ご使用している車両の交換した経歴がはっきりしない場合、暑い夏を迎える前に交換をなされてはいかがでしょうか？

### 2. 作動油

夏によく聞く話で、ハードな連続作業をしていると機械の作動が遅くなり、やがて動かなくなってしまう、という話をよく聞きます。これは作動油の粘度が熱の為に低下し、起こる現象で、劣化した作動油を使用しているとより起こりやすくなります。作動油も定期的な交換を推奨されていますが、ブレーキオイル同様交換経歴がはっきりしない場合、暑い夏を迎える前に交換をなされては、いかがでしょうか？



\* 写真右のような作動油を使用していると大きな故障・事故にもつながります。

### 3. エンジン冷却系統

エンジンの冷却も外気で行っている為、夏にエンジンのオーバーヒートが多く起こります。ラジエターが目詰まりを起こしていたり、ラジエターの水が汚れていたりすれば、必然的にエンジンの冷却効率は低下しオーバーヒートが起こりやすくなります。  
ラジエター回りのメンテナンスも夏を迎える前におこなう事をお勧めします。

ラジエターの外部の目詰まりは目視で確認できますが、内部の目詰まりはなかなか判りにくいものです。内部の目詰まりの判別方法としては

1). ラジエターの水を何度交換しても水が汚れている。

2). ラジエターのロアーホース(下側についているホース)が濡れている。

等があります。ラジエター内部の目詰まりはラジエター洗浄剤を注入し洗浄するか、程度が悪い場合専門業者にラジエターを出し洗浄又はコア(ラジエターの網の部分)を交換する必要があります。

定期的にラジエターの水を交換したり、洗浄剤を注入し洗浄する事でこのような事は防止できます。

ラジエター修理の専門業者に聞いた話ですが、横浜市営バスのラジエター修理がある日を境に激減したそうです。市営バスの担当者に聞いたところラジエターの水を定期的に交換し始めたとの事でした。

ラジエターの水を交換する際の注意事項

ラジエターの水は軟水を使用する事と当然機械の使用温度に合わせた不凍液を加えてください。

使用温度は冬期の最低気温より10 前後低いもので設定してください。

混合割合は冷却水全量を目安にしてください。

\* 詳細については取り扱い説明書を参照してください。

| 使用温度<br>( ) | 混合割合(%)<br>(水 / 不凍液) |
|-------------|----------------------|
| -5          | 78 / 22              |
| -11         | 75 / 25              |
| -14         | 70 / 30              |
| -24         | 60 / 40              |
| -42         | 45 / 55              |

今回は一応3項目について考えてみましたが、夏は機械にとって非常に厳しい条件で動く事は間違いの無い事で、油脂関係などのメンテナンスによりいっそうの注意が必要です。

国際サービスシステムはそのことを踏まえ、毎年おこなっています。

## サマーキャンペーン

今年も7月～8月 期間限定でオイル・エレメント・タイヤ・クーラントなど格安で販売させて頂きます。是非、国際サービスをご利用ください。

## リコールのお知らせ

コベルコ建機よりリコールの届出がされています。工事内容はコラムシフトレバー交換工事

対象機種はラフテレーンクレーンRK120・RK160-3・RK250-5・RK350-2です。

すでにご案内はしていると思いますが、対象機種をお持ちのお客様で未工事のお客様は早めに工事なされるようお願いいたします。詳細についてはコベルコ建機・国際サービスに御問い合わせください。

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。